13_誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコピーあるいは嚥下造影検査の実施率

意義:誤嚥性肺炎の多くは嚥下障害によって引き起こされる。咽頭ファイバースコピーや嚥下造影検査によって患者の嚥下機能を評価し、

適切なアプローチ(治療、摂食・嚥下訓練、リハビリテーション、音声訓練など)につなげることができる。

定義の要約: 2020年度実績

分子) 分母のうち「D299喉頭ファイバースコピー」または「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数 42人

分母)誤嚥性肺炎患者数 158**人 26.6%**

(girasol 全国平均值 6.91% 症例数/月 70% 患者数/月 延べ患者数/月 60% 在院日数 実日数 術前日数間術後日数 DPC¥||/日||/月 /日||/月||% 50% \triangle BM /日 ⊿DPC /日 明細¥ /日||/月||% 40% 使用量 /日 /月 実施日数 ||/月||% 最初日間術後最初日 30% 折れ線 26.6% 表示しない 症例数/月||実施率 在院日数 実日数 20% 延べ患者数/月 DPC¥ ||/日 ||/月 粗利¥ /日 /月 % 10% \triangle BM /日 6.91% /日 明細¥ /日||/月||% /日 /月 0% 松江市立 実施日数 ||/月||% 最初日 術後最初日